

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	健康教育事業							予算事業名	健康教育事業費			
予 算 科 目	会計	04	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	介護保険法			
			03	02	01	1201	経常経費					
総合計画体系	みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指す 高齢者が生き生きと安心して暮らせる地域づくり 介護予防の推進							事業の区分	主要事業			
								担当課係等	介護福祉課 長寿支援係			
事業期間	継続 (年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
全ての高齢者が、介護予防の知識を身につけ、心身の健康に寄与する活動に取り組むことのできる環境をつくる。							平成18年4月介護保険法改正に伴い、高齢者の心身機能・活動能力・社会参加等の生活レベル低下による要介護度の悪化を予防する取り組みの強化として地域支援事業 (介護予防事業) が施行された。					
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】					
<ul style="list-style-type: none"> 健康増進や認知症予防を目的とした介護予防教室の開催 生きがいがづくりや閉じこもり防止を目的とした講座の開催 							第1号被保険者					
							【事業をとりまく環境の変化】					
							当市では平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、高齢者の介護予防活動の普及・啓発を行っている。その中で、地域や市民のニーズにあった予防事業の推進が求められる。					
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】				
<ul style="list-style-type: none"> 市民参加型健康づくり教室 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 運動機能向上教室 生活機能向上リハビリ教室 介護予防教室 				<ul style="list-style-type: none"> 市民参加型健康づくり教室 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 運動機能向上教室 生活機能向上リハビリ教室 介護予防教室 				<ul style="list-style-type: none"> 市民参加型健康づくり教室 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 運動機能向上教室 生活機能向上リハビリ教室 介護予防教室 				

■ 事業費

		R06年度	R07年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	1,192	1,374			
	県 支 出 金	675	790			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	1,459	1,706			
	一 般 財 源	2,078	2,451			
歳 入 計 (千 円)		5,404	6,321			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	10 需用費	18	33			
	11 役務費	58	75			
	12 委託料	5,328	6,213			
歳 出 計 (千 円) (A)		5,404	6,321			
伸 び 率 (%)			16.96			
備 考	総合計画60ページ 予算書294ページ					

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動指標	講座・教室の参加者数	人	目標	10,620.00	13,000.00	13,000.00
	健康づくり教室、介護予防教室、生きがい講座（※R6までは認知症予防教室の実績含む）		実績	12,801.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	講座・教室の開催数	回	目標	850.00	850.00	1,150.00
	健康づくり教室、介護予防教室、生きがい講座（※R6までは認知症予防教室の実績含む）		実績	1,065.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	高齢者人口が増える中、介護予防の普及啓発を図り、市民の健康づくりに取り組むことが要介護認定者や介護保険料の抑制につながるため。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	法の趣旨に基づく事業であり、市が介護保険を適正に運営するために関与すべき事業であるため。
	手段の妥当性	A 妥当である	対象者として適当である市民へ声かけができるなど、手段としては妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	介護予防事業は今後も必要とされる事業ではあるが、実施内容や対象者など、より効果的かつ効率的に実施できるよう、検討していく必要がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	65歳以上の高齢者を対象として実施している。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	コロナ禍以前の水準同等の内容で、教室実施しているが、今後も市民の声や様子を反映しながら実施し、会場や内容を検討していく必要がある。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	上記同様に継続実施し、検討していく。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
教室や開催時期、開催場所によって参加者数にばらつきがあるため、地域のニーズ・課題等を見出す必要がある。対象者や会場。内容等を検討しつつ、継続実施していく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市民の介護予防においては、今後も必要な事業であるため、今後も継続実施していくが、市民自ら介護予防に取り組めるよう、実施内容等を工夫・検討しながら取り組んでいく。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容 高齢者の健康増進を図るため、ニーズや各種データ等により事業の有効性を検証しながら、本市の実情に沿った介護予防に関する取り組みを推進していく。 この取り組みを充実させることが、医療費や介護保険料の抑制にもつながることから、将来的には必要に応じて拡充も考えている。</p> <p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり</p>
管理課連絡欄